

空手

カラテ・ネットワーク

NETWORK

2002

3/1 FRI.

No.8

発行/山形県空手道連盟
制作/山形県空手道連盟普及部

空手道競技の個人組手で、成年男子中量級の安達善也選手と少年男子の開沼研一選手がアベックで準優勝を達成。大学、高校最後の大会で有終の美を飾った。

も準決勝まではポイントを先行し、積極的な攻めで流れをつかんだ。だが決勝では、逆に相手からペースを握られてしまった。

▲[成年男子個人組手中量級決勝]
中段突きで攻める安達善也

みやぎ国体ダブル準優勝！

安達 日本大学・開沼 東海大山形高

「あと一步！」結果惜しくも充実、大きな自信つかむ

第56回 国民体育大会 秋季大会 空手道競技
とき/2001年10月4日～6日
ところ/宮城県大河原町総合体育館

い技を受け、警戒し過ぎる場面が増えた。一瞬のやり取りが流れを決めることを知っているだ

けに、頂点が見えた2人の悔しさも大きかった。
だが、安達にとっては4年ぶり、開沼にとっては「結果は最高」という初の国体表彰台。安達は高校3年の時にインターハイと国体の二冠を達成。学生時代は期待されながら思うような結果が出ず、歯がゆさもあつただけに、久々の表彰台には「やれるんだ」という満足感がある」と笑顔を見せた。悔しさと一緒に2人が大きな自信をつかんだのも間違いない。



▲[少年男子個人組手決勝]上段突きを繰り出す開沼研一

対戦成績

▽同中量級準決勝	▽少年男子組手個人準決勝
安達善也 3-0 (鹿兒島、鹿児島城西高)	開沼研一 6-1 (東海大山形高)
仁木孝博	小池英斗 (東京・世田谷学園高)
▽同決勝	▽同決勝
本間健一 6-3 (山形・日大)	伊原圭太 6-1 (大阪・柏高)
安達善也	開沼研一 (東海大山形高)

頂点めざせ アスリート！

監督 安達 剛



今回の好成績はコーチングスタッフの充実、惜しくも敗退した選手達が二人をバックアップしてくれた事、皆様の応援が大きな力となりました。安達選手は日大空手部のキャプテンでもあり、全日本学生選手権大会第三位に入賞し、今回はぜひ優勝をと挑んだ国体でした。決勝では自分の組手ができない場面があり、それを課題として、次回に優勝を期待します。

開沼選手は小学一年生より空手を続け、東海大山形空手道部で数々の経験を積み、帰宅後も安達道場で練習を重ねる努力の成果が準優勝という結果につながったと思います。両選手とも子供時代から空手を続け、色々な事を乗り越え「継続は力なり」の結果で示してくれました。多くの方々のご指導、御支援を得て、山形県から日本だけでなく世界で活躍する選手が育っていくことを期待します。

山形県空手道連盟 役員改選

新体制スタート!

会長就任のご挨拶

山形県空手道連盟/会長
飛鳥宗一郎

このたび、二月十日に開催された平成十四年度定例総会において、高橋和雄山形県知事から会長職へ退任のご意向が示され、これを受けて役員選考委員会を設置（委員長・柏倉晴彦常任相談役）して検討され、その結果、不肖私が後任会長に選任されました。

私は、一介の市井人であり、高橋前会長の卓越した力量や識見に比肩する何物も持ち合わせませんから、お引き受けするに心底から忸怩たる思いでしたが、各位からのご推挙を謹んでお受けした次第であります。

長年の間、本連盟運営にご尽力賜りました高橋前会長からは名誉会長に、吉村和夫前副会長（山形市長）からは顧問にご就任いただきました。ここに、役員一同に代わり、両先生に深甚なる感謝の意を表し、併せて今後も変わらぬご教導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

顧みますに、昭和四十年十一月の連盟結成時に理事長職を拝命し、平成六年からは副会長として会長を補佐し連盟の運営に携わってきましたが、皆様から絶大なご支援とご協力をいただきながら、やっ

との思いで職務に当たらせていただきました。

この間で最も脳裏に焼き付いていまして、丁度十年前の「へにはな国体」空手道競技会であります。会場には天皇、皇后両陛下ご臨席の栄誉に浴し、華々しく開催され、成績結果も新記録の高得点で天皇杯、皇后杯の優勝を勝ち取り、競技会も今に語り継がれるほど立派な運営でありました。しかし、何にも増して成果となったのは、長年の準備期間を通し関係者一丸となって行動に参加し、全力を出しきった取り組みとなったことだと思います。

「へにはな国体」終了後は、より機動性を追求した組織改定が行われ、平成七年には連盟結成三十周年を無事迎えたのです。

このような本連盟にあつて、最も重要な役職を仰せつかり、責任の重大さ身をもって感じています。副会長に齋藤英雄氏（前常任相談役）、田鎖光雄氏（前理事長）、そして東海大学山形高等学校校長の鈴木喜久夫氏（県高体連空手道専門部部長）が就任され、私の定れるところで補っていたいただけることで安心しております。

また、新理事長の工藤清氏をはじめとする役員の皆様からは、本連盟活動一層の活性化と、指導者や選手の育成強化、各種大会の運営など、当面する課題解決に邁進されるよう、大きく期待いたしております。

飛鳥会長は、全空連東北地区協議会議長にも就任されました。

理事長就任のご挨拶

山形県空手道連盟/理事長
工藤 清

このたび開催された山形県空手道連盟総会において、田鎖理事長の後任として、理事長に就任致しました。この場をお借りして一言、ご挨拶を申し上げます。

さて、現在の我々を取り巻く社会状況は大きな変化の時代に入っています。

具体的には、第1に社会全体と各個人の考え方の変化であります。これは全体から個々への変化であり、多様化・価値観・個性などの変化であると考えられます。第2には、小児化に伴う社会構造の変化であります。これは少子化に伴う社会的悪影響と空手道競技人口の減少であります。第3には、学校完全週5日制であります。これは、基礎基本・学力低下・生きる力・ゆとり・休息や余暇の利用などが問題点として上げられます。第4には、体育を取り巻く社会環境の変化であります。これは、生涯教育と生涯体育、学校体育と社会体育、指導体制・施設不足、競技の多様化などの問題であります。第5には、情報化の時代であります。これにはインターネット、ホームページ、EメールなどのIT化、データの蓄積と活用、選手強化や大

会運営での情報処理化などが上げられます。

県連盟としても以上の点を踏まえながら、普及部・競技部強化部の三専門部が連携を取りつつ長期的・短期的な計画・実践を行っていく必要があります。また、本年度からの新規事業として、科学的なデータを基に運動能力やトレーニング方法など、各種の最新情報を各会員に伝達するシステムとしての技術委員会（仮称）を設置することに致しました。同時に県連盟組織の再確認と規約改正も実施する予定であります。

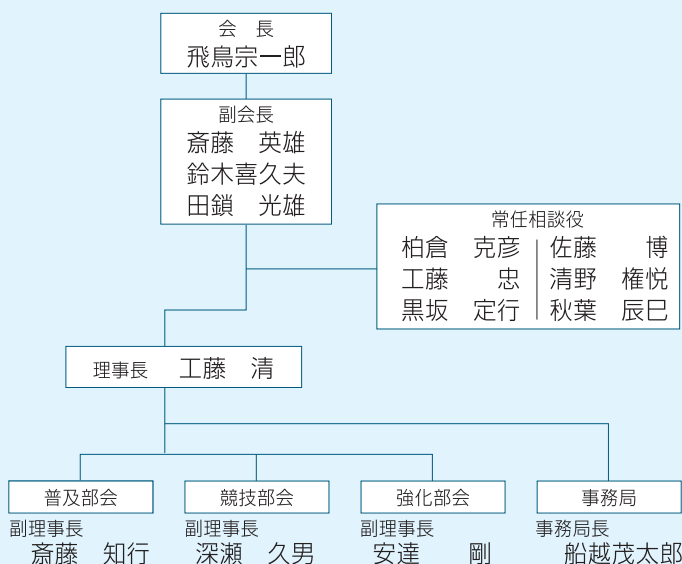
また本年度は、東北大学総体・東北総体・東北高校選抜大会の三大大会が山形県当番で開

催されます。成功に向けて皆様方のご協力を宜しくお願いいたします。

最後になりますが、県連盟発足から今日までを振り返ってみますと、最も大きな事業はなんと言っても「へにはな国体」であります。その国体が成功したのも、全員が一つの目標に向かって力を合わせたことができたということであると思います。一人一人が自己に厳しく、自己を高めることが、組織の大きな力になっていくのです。正に「組織は人なり」であります。

今後とも県空連発展のために、皆様方の絶大なご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

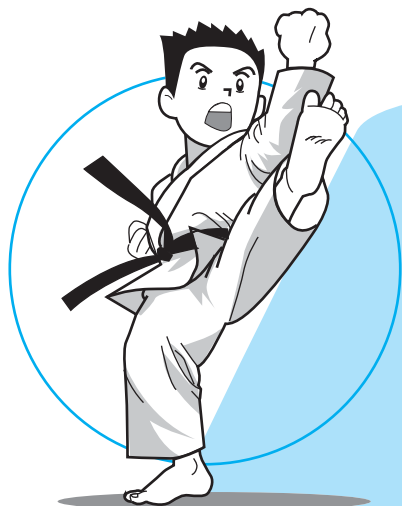
【山形県空手道連盟 組織図】



やまがた空手MAP

山形県空手道連盟/道場紹介

こんなにたくさんの仲間が空手を楽しんでいます！



最上エリア

- 新庄支部 (板垣 三栄) 023-643-5175
- 崇武館新庄支部 (武田 政夫) 0233-23-0321
- 星園館 (星川紀一郎) 0237-35-4894
- 新庄日新中学校 (吉田 広志) 0233-22-1520

庄内エリア

- 錬武会山形本部 (塚形国雄) 0234-23-5708
- 和道会秋葉道場 (秋葉辰己) 0234-24-5776
- 三川支部 (佐藤武夫) 0235-66-3608
- 荘空館空手道場 (中村秀男) 0235-22-0245
- 荘内空心会 (阿部信行) 0235-33-4224
- 鶴岡支部 (梅津孝夫) 023-654-0255
- 至道館 (佐藤英俊) 0234-64-3619
- 八幡空手部 (斉藤 等) 0234-64-2438

1.全日本空手道連盟登録会員数は？

880名

(少年部/750名)
(一般/130名)

2.登録団体数…………… 40団体

3.どんな流派・会派があるの？

和道流、和道会、糸洲会、空手協会、
国際松濤館、松濤館流、練武会、
玄制流、糸東会、剛柔流

置賜エリア

- 誠道塾 (山口彰一) 0238-41-2204
- 武術館NEC米沢支部 (佐藤豊彦) 0238-22-1773
- 白鷹支部鷹武館 (寒河江智陽夫) 0238-85-3838
- 長井空手道連盟 (遠藤隆夫) 0238-84-1920
- 糸洲会川西支部 (菅井則明) 0238-42-4271
- 米沢市空手道スポーツ少年団「嵐」 (大武政通) 0238-23-6725

山形県高等学校体育連盟空手道部

(工藤 清) 023-623-9859

- 山形工業高校
- 山形中央高校
- 天童高校
- 酒田南高校
- 東海大学山形高校
- 山形電波工業高校
- 庄内農業高校
- 南陽高校
- 庄内総合高校

村山エリア

- 村山支部 (佐藤 博) 023-643-5624
- 源武館 (工藤源七) 0237-87-4371
- 協会寒河江支部 (鈴木政彦) 023-662-2032
- 崇武館寒河江支部 (渡邊正博) 0237-86-8422
- 大江町空手道連盟 (清野秀彦) 0237-62-3013
- 国際松濤館 空手道連盟山形支部 (石川寿広) 023-662-4657
- 中山町体育協会空手部 (庄司俊光) 023-662-4403
- 松濤館流山辺支部 (石島由弘) 023-664-6228
- 日本空手道玄制流武徳会 (手川文彦) 023-655-4160
- 崇武館天童支部 (原田秀明) 023-653-9243
- 糸洲会山形支部 (富樫庄一) 023-695-2901
- 深瀬道場 (深瀬久男) 023-622-3663
- 五十鈴支部 (畠山修一) 023-631-0737
- 悟拳会 (片桐繁雄) 023-629-2641
- 安達道場 (安達 剛) 023-644-7777
- 山形県庁空手道部 (船越茂太郎) 023-631-9369
- 崇武館 (飛鳥宗一郎) 023-641-8075
- 健成館 (小笠原博) 023-672-0933

●東北芸術工科大学空手道部

- (高橋英夫)
- 山形大学空手道部 (渡部智士)
- 山形大学拳友会 (安孫子考) 023-681-1083

平成13年度 大会ハイライト Karate party convention



第31回県社会人空手道選手権大会

◎平成13年5月13日(日)
◎山形県武道館

- ▼形競技(35歳以上の部)
1 佐藤直記(シクリエイト)
2 井上一宏(山形県庁)
3 本間努(山形県庁)
- ▼形競技(女子の部)
1 山口敦子(自営)
2 大場朗子(加賀山医院)
- ▼形競技(有段者の部)
1 重野誠司(遠藤電気)
2 大場篤(東栄コンクリート工業)
3 佐藤和典(出羽工務所)

団体組手

- 1 遠藤電気
2 安達接骨院
3 小座間接骨院
- ▼個人組手(35歳以上)
1 佐藤勝(山形県庁)
2 佐藤直記(シクリエイト)
3 齋藤一夫(山形県庁)
- ▼個人組手(有段者)
1 丹越正一(みずほの里)
2 片倉徹(小関設備)
3 工藤博和(山形協同電気)

第9回全国中学生空手道選手権大会

山形県予選会

◎平成13年6月10日(日)
◎天童市スポーツセンター

- ▼形 中学生男子団体
1 日新中 2 米沢三中B
▼形 中学生女子団体
1 鶴岡五中 2 米沢三中
▼組手 中学生男子団体
1 米沢三中B 2 山形四中
▼組手 中学生女子団体
1 鶴岡五中 2 米沢三中
▼形 中学生男子個人
1 土田秀興(明倫中)
2 加藤藤(日新中)

第19回県ジュニア空手道選手権大会

◎平成13年7月8日(日)
◎天童市スポーツセンター

- ▼形(小学生男子1年の部)
1 土田秀治(沼田小)
2 小田洋夢(山形七小)
3 杉山侑平(山形五小)
- ▼形(小学生男子2年の部)
1 伊藤秀(日新小)
2 安食祐馬(柴橋小)
3 渡部恭平(神町小)
- ▼形(小学生男子3年の部)
1 土田秀成(沼田小)
2 加藤大貴(日新小)
3 大泉泰士(日新小)
- ▼形(小学生男子4年の部)
1 小山真澄(山形七小)
2 今野拓(致芳小)

3 八代洸允(山形四小)

▼形(小学生男子5年の部)
1 高橋直起(大山小)

2 佐藤智徳(広野小)

3 佐藤克洋(八幡小)

▼形(小学生男子6年の部)
1 鈴木朋幸(本郷東小)

2 伊藤謙(日新小)

3 後藤勝嗣(松原小)

▼形(小学生女子1年の部)
1 松田桜子(桜田小)

2 豊後玲(滝山小)

3 安孫子さき(中部小)

▼形(小学生女子2年の部)
1 国分円香(新庄小)

2 坂上愛(堀内小)

3 海老名裕美(新庄小)

▼形(小学生女子3年の部)
1 荒川聡実(日新小)

2 大内万佑花(金井小)

3 佐々木梓(沼田小)

▼形(小学生女子4年の部)
1 海藤佳奈(新庄小)

2 国井結華(高松小)

3 細谷桜子(鈴川小)

▼形(小学生女子5年の部)
1 高橋唯(北辰小)

2 後藤遥(天童長岡小)

3 菊地美沙(左沢小)

▼形(小学生女子6年の部)
1 伊藤渚(日新小)

2 池上奈津実(本郷東小)

3 加藤千明(湯野浜小)

▼形(中学生男子1年の部)
1 加藤葵(日新中)

2 土田秀興(明倫中)

3 富樫孝英(天童四中)

▼形(中学生男子2年の部)
1 土田秀元(明倫中)

2 伊藤顕(山形四中)

3 中村仁(天童四中)

▼形(中学生男子3年の部)
1 中村亮太(山形六中)

2 今中聖也(米沢三中)

3 鈴木聖也(白鷹西中)

▼形(中学生男子4年の部)
1 鈴木志緒里(大江中)

2 佐藤梓(鶴岡五中)

3 佐藤瑞紀(酒田三中)

▼形(中学生女子1年の部)
1 水間梨紗(鶴岡五中)

2 本間若子(鶴岡五中)

3 佐藤有里香(八幡中)

▼形(中学生女子2年の部)
1 酒井恵(上山南中)

2 高橋唯(天童二中)

▼組手(小学生男子4年の部)
1 小山真澄(山形七小)

2 佐藤瑞樹(広野小)

3 荒井敬太(滝山小)

▼組手(小学生男子5年の部)
1 小野晴貴(高松小)

2 阿部優樹(大山小)

3 松永也和(長井小)

▼組手(小学生男子6年の部)
1 伊藤謙(日新小)

2 鈴木朋幸(本郷東小)

3 本間匠(東平田小)

▼組手(小学生女子4年の部)
1 佐藤智美(湯野浜小)

2 菅原芽衣(大山小)

3 辻佑果(南部小)

▼組手(小学生女子5年の部)
1 奥山悠衣(柴橋小)

2 佐藤かすみ(本郷東小)

3 清野仁美(本郷東小)

▼組手(小学生女子6年の部)
1 土田ひかり(沼田小)

2 伊藤渚(日新小)

3 伊藤智美(鶴引西小)

▼組手(中学生男子1年の部)
1 渡辺愛士(天童三中)

2 土田秀興(明倫中)

3 加藤葵(日新中)

▼組手(中学生男子2年の部)
1 伊藤顕(山形四中)

2 石井大介(山形四中)

3 土田秀元(明倫中)

▼組手(中学生男子3年の部)
1 今中聖也(米沢三中)

2 佐藤聖也(白鷹西中)

3 鈴木聖也(白鷹西中)

▼組手(中学生男子4年の部)
1 渡辺翔太(天童三中)

2 谷紗季(川西一中)

3 渡辺美里(白鷹東中)

▼組手(中学生女子1年の部)
1 水間梨紗(鶴岡五中)

2 本間若子(鶴岡五中)

3 佐藤有里香(八幡中)

3 小出愛(米沢三中)

▼組手(中学生女子3年の部)
1 高橋愛美(白鷹東中)

2 佐藤初美(陵南中)

3 酒井恵(上山南中)

◎平成13年7月1日(日)
◎総合運動公園サブ体育館

▼少年女子組手
1 鈴木蘭(南陽高校)

2 関東里佳(天童高校)

3 世原光絵(天童高校)

▼成年女子組手
1 那須美紀(日本大学)

2 伊藤茜(日本大学)

3 佐藤茜(国士館大学)

▼少年男子組手
1 開沼研人(東海大山形高)

2 高橋吉将(東海大山形高)

3 今野雄太(酒田南高)

▼成年男子組手(軽量級)
1 齊藤裕介(東海大学)

2 富瀬健(東海大学)

3 梁瀬伸祐(土田医院)

▼成年男子組手(中量級)
1 安達善也(日本大学)

2 鈴木祐介(東海大学)

3 伊藤正樹(東北芸工大)

▼成年男子組手(重量級)
1 鈴木悟(東洋大学)

2 小座間寛人(小座間接骨院)

▼少年女子形
1 世原光絵(天童高校)

2 大場奈津実(東海大山形高)

3 佐藤萌(天童高校)

▼成年女子形
1 沖津智子(山大学部)

2 山口敦子(自営)

3 大場朗子(加賀山医院)

▼少年男子形
1 開沼研人(東海大山形高)

2 佐藤弘(東海大山形高)

3 本間祥太(庄内総合)

▼成年男子形
1 梅野誠司(遠藤電気)

2 梅津一彦(後藤クリーニング)

3 岡利明(東北芸工大)

第28回東北総体空手道競技
◎平成13年8月25日(土)～26日(日)

◎下郷町大川ふるさと公園

少年女子個人組手

2位 鈴木 蘭

3位 関東里 香

成年女子個人組手

2位 伊藤 茜

3位 那須 美紀

成年男子組手(中量級)

1位 安達 善也

成年男子組手(重量級)

2位 鈴木 悟

少年男子組手

5位 開沼 研人

少年女子組手

5位 笹原 光絵

成年女子組手

6位 沖津 智子

少年男子団体組手

3位

少年女子団体組手

3位

成年男子団体組手

2位

総合3位

◎置賜生涯学習プラザアリーナ

◎平成13年9月23日(日)

◎置賜生涯学習プラザアリーナ

高校男子個人組手

1 開沼 研人(東海大山形)

2 佐藤 岳弘(東海大山形)

3 柴田 一志(天童高校)

一般・高校女子個人組手

1 沖津 智子(崇武館)

2 大場 奈津美(東海大山形)

3 笹原 光絵(天童高校)

一般男子個人組手

1 重野 誠司(遠藤電気)

2 佐藤 直記(ミナソノエ)

3 舟越 正一(みすほの里)

高校男子個人組手

1 開沼 研人(東海大山形)

2 高橋 吉将(東海大山形)

3 後藤 直樹(東海大山形)

3 佐藤 健(酒田南高)

一般・高校女子個人組手

1 伊藤 茜(日大山形)

2 那須 美紀(日大山形)

3 笹原 光絵(天童高校)

3 鈴木 蘭(南陽高校)

一般男子個人組手(有級者)

1 湯野浜空手道スポーツ少年団
2 大江浜空手道スポーツ少年団
3 南陽市空手道スポーツ少年団

男子個人組手

1 鈴木 朋幸(大江)

2 中川 優也(新庄市)

3 後藤 勝嗣(酒田市)

4 逸見 紀章(協会寒河江)

5 阿部 優喜(新庄市)

6 阿部 優樹(大山)

女子個人組手

1 伊藤 渚(新庄市)

2 池上 奈津美(大江)

3 我妻 唯(南陽市)

4 高橋 礼(新庄市)

5 後藤 達(天童市)

5 海藤 佳奈(新庄市)

4年生男子組手

1 小山 真澄(安達道場双葉)

2 山口 信一郎(鶴岡和道)

3 鈴木 雄大(白鷹町)

3 金子 直樹(川西町)

5年生男子組手

1 小野 晴貴(源武館)

2 板垣 一郎(星園館)

3 山口 周也(鶴岡和道)

4 衣袋 太郎(白鷹町)

6年生男子組手

1 伊藤 謙(新庄市)

2 山口 智史(鈴川深瀬道場)

3 山崎 翔平(大江)

3 佐藤 真人(荘空館)

4年生女子

1 佐藤 智美(湯野浜)

2 菅原 芽衣(大山)

3 佐藤 桂(寒河江)

5・6年生女子組手

1 土田 ひかり(新庄市)

2 遠田 茜(八幡町)

3 今野 綾(南陽市)

県少年少女スポーツ交流大会空手道競技

◎平成13年10月7日(日)

◎山形県総合運動公園剣道場

◎山形県総合運動公園剣道場

男子個人組手

1 新庄市空手道スポーツ少年団

2 白鷹町空手道スポーツ少年団

2 女子総合

1 新庄市空手道スポーツ少年団

2 大江空手道スポーツ少年団

男子団体組手

1 新庄市空手道スポーツ少年団

2 大江空手道スポーツ少年団

3 白鷹町空手道スポーツ少年団

女子団体組手

1 土田 秀成(沼田小)

2 伊藤 雅人(舟形小)

3 加藤 大貴(日新小)

形(小学生男子4年生)

1 小山 真澄(山形七小)

2 渋谷 宗一郎(大山小)

3 本間 樹(東平田小)

形(小学生男子5年生)

1 高橋 直起(大山小)

2 小川 晴貴(高松小)

3 中川 優也(日新小)

形(小学生男子6年生)

1 鈴木 朋幸(本郷東小)

2 阿部 優喜(堀内小)

3 伊藤 謙(日新小)

形(小学生女子1年生)

1 遠田 ゆかり(大沼小)

2 榮 ちづる(長岡小)

3 清野 江利子(本郷東小)

形(小学生女子2年生)

1 坂上 愛(堀内小)

2 国分 円香(新庄小)

3 海老名 祐美(新庄小)

形(小学生女子3年生)

1 荒川 聡実(日新小)

2 佐々木 梓(沼田小)

3 大内 万佑花(金井小)

形(小学生女子4年生)

1 海藤 佳奈(新庄小)

2 本間 美空(朝陽小)

3 水口 歩子(大山小)

形(小学生女子5年生)

1 後藤 遥(天童長岡小)

2 高橋 唯(北辰小)

3 布施 花凛(大石田小)

形(小学生女子6年生)

1 伊藤 渚(日新小)

2 我妻 礼(宮内小)

3 池上 奈津美(本郷東小)

形(中学生男子1年生)

1 加藤 葵(日新中)

2 加藤 修太郎(日新中)

3 富樫 孝英(天童四中)

形(中学生男子2年生)

1 土田 秀元(明倫中)

2 伊藤 顕(山形四中)

3 中村 仁(天童四中)

形(中学生男子3年生)

1 鈴木 主大(大江中)

2 遠藤 修平(川西一中)

3 上野 雄太(鶴岡二中)

形(中学生女子1年生)

1 佐藤 瑞紀(酒田三中)

2 佐藤 志緒里(大江中)

3 鈴木 木主大(大江中)

1 加藤 葵(日新中)

2 加藤 修太郎(日新中)

3 富樫 孝英(天童四中)

形(中学生男子2年生)

1 土田 秀元(明倫中)

2 伊藤 顕(山形四中)

3 中村 仁(天童四中)

形(中学生男子3年生)

1 鈴木 主大(大江中)

2 遠藤 修平(川西一中)

3 上野 雄太(鶴岡二中)

形(中学生女子1年生)

1 佐藤 瑞紀(酒田三中)

2 佐藤 志緒里(大江中)

3 鈴木 木主大(大江中)

形(中学生女子2年生)

1 本間 梨紗(鶴岡五中)

2 水口 若子(鶴岡五中)

3 佐藤 綾(陵南中)

形(中学生女子3年生)

1 松田 典子(大江中)

2 酒井 恵(上南山中)

3 佐藤 初美(陵東中)

形(中学生女子4年生)

1 小山 真澄(山形七小)

2 本間 樹(東平田小)

3 今野 拓(致芳小)

形(中学生女子5年生)

1 中川 優也(日新小)

2 峯田 総介(山形二小)

3 浅野 允玲(大山小)

形(中学生女子6年生)

1 小野 晴貴(高松小)

2 鈴木 匠(東平田小)

3 伊藤 真人(嘉小)

形(中学生女子4年生)

1 海藤 佳奈(新庄小)

2 小原 奈々絵(米沢愛宕小)

3 水口 歩子(大山小)

形(中学生女子5年生)

1 菅原 芽衣(大山小)

2 布藤 花凛(大石田小)

3 大竹 千尋(宮内小)

形(中学生女子6年生)

1 土田 美帆(押切小)

2 小池 美帆(押切小)

3 土田 ひかり(沼田小)

形(中学生男子1年生)

1 土田 秀興(明倫中)

2 遠田 綾(宮内小)

3 菊地 藍(宮内小)

形(中学生男子2年生)

1 加藤 葵(日新中)

2 加藤 修太郎(日新中)

3 富樫 孝英(天童四中)

1 加藤 葵(日新中)

2 加藤 修太郎(日新中)

3 富樫 孝英(天童四中)

形(中学生男子2年生)

1 伊藤 顕(山形四中)

2 中村 亮太(山形六中)

3 高橋 葉唯留(山形三中)

形(中学生男子3年生)

1 渡辺 翔太(天童三中)

2 遠藤 修平(川西一中)

3 今田 剛(山形四中)

形(中学生女子1年生)

1 鈴木 木主大(大江中)

2 沢谷 紗季(川西中)

3 三原 杏美(明倫中)

形(中学生女子2年生)

1 佐藤 有里香(八幡中)

2 齊藤 千里(白鷹東中)

3 後藤 千穂子(米沢三中)

形(中学生女子3年生)

1 佐藤 初美(陵東中)

2 酒井 恵(上南山中)

3 高橋 愛美(白鷹東中)

形(中学生女子4年生)

1 長谷部 美帆(白鷹西中)

2 酒井 恵(上南山中)

3 高橋 愛美(白鷹東中)

形(中学生女子5年生)

1 佐藤 初美(陵東中)

2 酒井 恵(上南山中)

3 高橋 愛美(白鷹東中)

形(中学生女子6年生)

1 長谷部 美帆(白鷹西中)

2 酒井 恵(上南山中)

3 高橋 愛美(白鷹東中)

形(中学生女子7年生)

1 佐藤 初美(陵東中)

2 酒井 恵(上南山中)

3 高橋 愛美(白鷹東中)

形(中学生女子8年生)

1 佐藤 初美(陵東中)

2 酒井 恵(上南山中)

3 高橋 愛美(白鷹東中)

形(中学生女子9年生)

1 佐藤 初美(陵東中)

2 酒井 恵(上南山中)

3 高橋 愛美(白鷹東中)

形(中学生女子10年生)

1 佐藤 初美(陵東中)

2 酒井 恵(上南山中)

3 高橋 愛美(白鷹東中)

形(中学生女子11年生)

1 佐藤 初美(陵東中)

2 酒井 恵(上南山中)

3 高橋 愛美(白鷹東中)

第56回国体空手道競技
◎平成13年10月14日(日)～16日(火)

◎大河原町総合体育館(はねこアリーナ)

◎大河原町総合体育館(はねこアリーナ)

少年女子組手個人戦

予選敗退

予選敗退

予選敗退

予選敗退

予選敗退

予選敗退

予選敗退

予選敗退

予選敗退

予選敗退

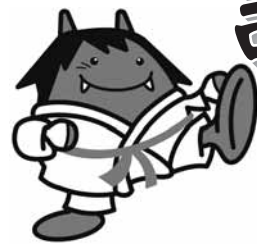
予選敗退

空手あれこれ談話 (五)

山形県空手道連盟会長

飛鳥宗一郎

秋田ワールドゲームズ大会観戦記



はじめに
 昨年の8月16、17、18日を会期に、公式競技6種目、公開競技5種目、秋田県内8市町の9会場で開催された。
 空手道競技は、1日と1日の2日間「天王町総合体育館」を会場に、世界の強豪が華々しく技と勝負を競ったのです。
 私は、昭和4年の第一回世界選手権大会で審判員を務めたが、それ以来の国際大会でした。この大会運営に少し関わってきたため、前日から秋田入りし、大会中は来賓席から観戦しました。
 その模様をQ&A方式で記

述してみました。諸君も目標は大きく、世界を目指して頑張りましょう。

ワールドゲームズって何?

Q これはどんな大会ですか?
 A 国際ワールドゲームズ協会(IWGA)が主催する国際総合スポーツ大会で、国際オリンピック委員会(IOC)の支援を受け、四年に一度夏季オリンピックの翌年に開催されています。
 Q ではオリンピックと同じですか?
 A この大会はオリンピック

競技種目以外のスポーツから選ばれ、公式競技と公開競技があります。世界から訪れる選手・役員と、地元の人々との交流もあるのです。
 Q 選手は各国の代表ですか?
 A 国ではなく、各競技の国際連盟が選んだ最高水準の代表選手です。
 Q ワールドゲームズの歴史と、今回大会の状況を教えてください。
 A 一九八一年アメリカのサンタクララで開催したのが最初で、今回は六回目になります。アジアでは最初の開催です。参加は9カ国、選手・役員総数は三、二五〇人となりました。
 空手道大会のあらまし
 Q 空手道会場はどんなところ?
 A 秋田市と男鹿市の中間で「天王町総合体育館」です。コートは2面、両側に仮設スタンドが設置され、二階を合わせて二千名位の観客席でした。決して大掛かりな施設ではありません。



つ。
 A 男子組手は6kg以下から5kg刻みで7階級、女子組手3階級です。形は男女2種目で合計2種目でした。
 Q 出場選手の選考基準は何ですか?
 A 二〇〇〇年の世界大会8位以内と、各大陸(洲)大会の優勝者です。
 Q 参加国と選手数はどのくらい?
 A 2カ国、9名の選手でした。日本は開催国であり、資格条件に関係なく全種目にエントリーできたので、1名の出場となりました。

Q 国際大会だから、競技運営は全空連ですか?
 A 大会委員長は蓮見専務理事、副委員長は荒川事務局長で、他に全空連から3名来ました。残る競技委員は全て秋田県空手道連盟と高校生の部員で、競技会役員は開催町の関係者とボランティアの方々でした。
 Q 組合せはどこで決めたの?
 A 前日夕方からエントリーチェックを行ない、各国の監督が抽選して決定しました。終了したのは深夜2時過ぎと聞きました。したがって、プログラムに組合せ表はなく、別

印刷となりました。
 世界大会のルール
 Q 競技ルールは国内と同じですか?
 A 世界空手道連盟が新たに判定した「競技規定」で実施されました。なお、全空連は平成4年4月から、この「競技規定」を国内でも採用すると発表したので、県内も国体予選から新しい「競技規定」になるかも知れません。今後は世界大会も国内大会も同じルールになるのです。
 Q 具体的に違いを教えてください。
 A 組手はメンホーなしの拳サポーターだけです。赤・白と呼ぶのですが帯と拳サポーター、それに副審の旗は(赤)と(青)なのです。
 組手に「技あり」はなく、有効技は一本から3本まであります。「上段蹴り」や相手を倒しての「突き」は3本となり、「中段蹴り」や体勢を崩しての「突き」は2本で、単なる「突き」は1本です。本数というよりポイント(得点)制の感じます。「蹴り技」を上手く駆使できた方が有利なルールだと思います。
 勝敗の決し方は、何本取れば勝ちではなく、時間内なら8本差にならないと終了しません。反則も違いがあって、2つのカテゴリー(範囲・範疇)に分かれます。第一は、直接加撃や接触した技。第二は、第一以外の禁止事項と場外などです。加算方法は従来と同じです。主審1名と副審は3名で、



副審はコーナーでなくラインの中央に座ります。

形は点数制ではなく、赤・白選手の対戦方式で行なわれ、主審1名と副審2名です。挙げた旗の本数が多い選手の勝ちです。

Q 8点差で試合が決まりましたか。

A 沢山ではないが、ありました。何せ3本技を重ねるとたちまち本数が増えるからです。

Q 組手競技の実際を教えてください。

A 各階級の選手は7〜8人で、これが2フロックに分かれリーグ戦を行ない、リーグ優勝者同士が対戦して1・2位を決め、リーグ2位同士が戦い3位が決まります。

Q 形競技はどうですか。

A 男子8名、女子9名のトーナメント戦でした。各回戦ごとに形を変えなければなら

ないから、対戦相手により形を選定するの、も作戦の一つです。決勝進出者が1・2位となるのは当然ですが、途中で敗れた選手が敗者復活戦を行ない、その勝者が3位になります。

世界の審判員は

Q 審判員についてお聞きします。世界各国から来ましたか。

A レフリー・カウンセセル2名（日本1名）、審判員は1カ国3名（日本2名）で、女性の審判員が2名でした。

Q 日本と外国の審判員の違いは。

A やはり日本の審判員は上手です。反射反応が早く自信を持ち、毅然とした態度は立派です。外国人でも何人かは、

慣れた捌きで頑張っていました。女性の審判員も立派でした。

Q 審判員が集合して協議しますか。

A 集合協議はありません。全部旗で意思表示し意見交換をします。

Q では言葉でのやり取りはないのですか。

A 競技中はないが、コート外ではレフリー・カウンセセルから指示などあります。英語で行なわれていました。昼食やレセプションで外国人審判員と一緒にいました。ほとんどの人は、日本語の日常会話ができます。

ラテン音楽が流れる場内

Q 外国選手の試合模様は。

A 競技中はこの選手も真剣です。組手では、監督も身振りを交え大声で指示していました。選手は指示が飛ぶと奮い立つように頑張ります。

Q 雰囲気や応援はどうですか。

A 場内に流れるのはラテン音楽でした。選手席からボン・ゴ・ラテン音楽の小太鼓が鳴らされ、応援の声が掛かります。当然ながら、試合が始まればピタッと止みます。その辺は徹底されています。

Q 場内放送は30分ですか。

A 日本語が最初で、次が英語で最後がフランス語です。ラテン音楽が流れているのにスペイン語放送はありませんでした。

試合の様子は

Q 組手試合の様子はどのようにか。

A 日本選手が大活躍したのですが、外人選手の動きは柔軟でフットワークも軽快です。体重百kgを超える選手も、足の動きが止まりません。日本の重量級選手は、足が居着いてる感じがしました。それにポイントを早く取る方が有利なので、どの選手も相手より早く仕掛けられるように動いており、「蹴り」技も沢山出ます。でも弱い「蹴り」だと逆に返されてしまいます。

Q 形試合はどうですか。

A 男女とも日本の優勝でした。女子の若井敦子選手は力が一歩抜きん出ており、接戦にもなりません。男子の阿部良樹選手は、二〇〇〇年の世界大会は2位で、この大会は優勝したのですが、接戦をようやく制した感があります。世界男子の中には、形が大きく力強い選手がおりました。「二段蹴り」の跳びなどなんと高いこと。「突き」「蹴り」の極めもみんな頑張っており

Q どここの国が強かったですか。

A 組手でフランス、イタリア、イギリスなど。形ではベネズエラ、イタリアの男子でしょうが。

Q 選手のレベルはどうですか。

A 開催国を除き、世界のトップレベルが出場条件ですが、多少の優劣は仕方ないとしても、極端に弱い選手はいなかったと思う。接戦が多い

ので面白かった。

外国人選手の特徴

Q 日本と他国の選手の動きの違いはありますか。

A 組手では、日本の直線的で綺麗な「突き」技、連続技が目立ちます。外人は、ポイントを取るが綺麗な連携の美しさに欠けます。動き出すタイミングは円滑でした。重量級の男子は「蹴り」が上手くて強い。それに、とても柔軟だと思

練習会場では、外国人選手はリラックスで調整しています。日本選手は生真面目で動きが小さい感じがします。

Q マナーはどうですか。

A 試合中のマナーは何処の国もまずまずです。「礼」もしっかりやるし、「止め」で直ぐに分かれる。普遍的、基本的なことはやりますね。ただ、勝てばコートを出て直ぐに喜びを現すし、監督に飛び付いたりもします。当然ながら、日本の選手ではこんなことありません。

Q 空手衣など服装はどうですか。

A 日本選手以外は、おしなべてゆつたりした大きめの空手衣です。動き易さからでしょうか。それに比べて日本の選手はびつたりしており、ズボンなど窮屈そうに見えました。次に帯だが、帯をキッチリ締めるのも「礼法」の一つという感覚が外国人にはないようです。競技場では締めるのだがコートを下ると外してしまい、一見だらしく見える

時があります。生活習慣の違いですね。



日本選手は、全種目の半数で優勝しました。他にはフランスとイタリアが2個ずつです。何とフランスは2名の出場で金メダル2個で百%だから凄い。日本は、過去何年かの国際大会で最高の戦果です。

Q 大活躍の原因は何でしょうか。

A 第一には、開催国の有利さから全種目にエントリーできたが、日本は地力ある選手が多く、層が厚いのだと思

第二には、開催国としての意地と責任感が選手を奮い立たせたのではないかと。コーチ陣も必死の様相でした。

Q 開催国に有利な試合展開はありましたか。

A それは無いでしょう。組合わせは立会い抽選だし、審判員だって公平を期すが最前提だからです。強いて言うなら環境条件はあったかも知れない。選手と審判員の全員が、秋田市内のビジネスホテ

競技ルールにみる 今後の課題

工藤 清

この度、第6回秋田ワールドゲームズを観戦しましたが、国際ルールの変更についてその感想を述べたいと思います。

まず組手競技では第1に「3本勝負」についての変更であります。従来「3本16技あり」制でありましたが8ポイント制（技ありで数える）となりました。

した。競技時間内に8ポイントの差がつけばその時点で試合終了となりますが、時間内であれば何ポイントでも取り放題であります。

第2に、「有効技」の変更であります。従来の「一本と技あり」の2区分制から、技によって「一本、2本、3本」という「3区分制」に変更されました。その内容は以下の通りであります。

- ・3本（上段蹴り、投げ又は足払い後の有効技）
- ・2本（中段蹴り、背部への突き技、複合技）
- ・1本（中段又は上段突き、打ち技）

第3に「ペナルティ」についての変更であります。従来の「反則、場外、無防備」の3区分から2区分に変更されました。その内容は以下の通りであります。

- ・反則1（当てた行為）
- ・反則2（当てた行為以外の反則）（場外、無防備、他）

以上のことから、「突き技」よりも「蹴り技」の方がポイントが高いので、蹴り技が得意な選手には有利と言えます。バスケトボールの3点シュートなどの様に逆転劇が発生し易くなります。また得点を取り放題であるので、選手のスタミナや得点数が団体戦にも

ろに反映することになります。

次に形競技ですが、従来の得点制からトーナメント制に変更されました。審判は3人制なので、旗判定でどちらかに勝敗が決まることになりました。従って、同点決勝はなくなる反面、決勝戦まで行くには参加人数が多ければ多くの形を準備しなければなりません。

また、組手競技と同様に組合せ抽選が大きく左右されることとなります。

以上の国際ルールの概略を説明致しましたが、国内では平成3年度の全日本選手権大会から採用される予定であります。東北地区や県内では採用時期は未定ですが、いずれそのような方向になっていくものと考えなければなりません。

今回の大会では、審判技術は国内よりも数段低かったが、外国人選手の柔軟性、フットワーク、パワー、スタミナ、技の多種など日本人選手にはないものが数多く見られました。今後、「蹴り技の練習」と併せて、蹴り技に対する「さばき」が重要であると感じられました。（主審と副審の動作や呼称も変更されましたが、今回は省略します）

空手道競技に三選手出場

とき／2001年9月22日～24日
ところ／宮崎県・宮崎武道館



▲堂々の入場をする3選手！ 菊地選手の気合いの入った顔に注目が集まる

典となった。

空手道競技

は宮崎県武道館を会場に九月二十二日から

三日間、組手及び形の男女十三種目により

展開された。

本県から飛鳥宗一郎副会長、

菊地健治常任理事、原田秀明

常任理事の三名が代表選手として出場し、

結果は次のとおりで、菊地選手と原田選手が組手で第五

位入賞となりました。

試合結果

◎飛鳥宗一郎（六十歳以上組手）

一回戦 対戦なし

二回戦 飛鳥OIO 磯村（愛知県）

延長戦OIOで負け

最終結果 磯村が優勝。

◎菊地健治（五十～五十九歳組手）

一回戦 対戦なし

二回戦 菊地2ー1今泉（佐賀県）

勝ち

三回戦 菊地1ー3中村（大分県）

負け

◎菊地健治（五十～五十九歳形）

一回戦 セイシヤン

Aブロック八位同点だったが判定で

負け準決勝進出ならず

◎原田秀明（五十～五十四歳組手）

一回戦 原田6ー0山本（山口県）

勝ち

二回戦 原田 棄権 福田（栃木県）

勝ち

三回戦 原田1ー5大野（鹿児島県）

負け



▲準備OK！ 練習会場の3選手



世界空手道連盟 競技ルール改正 (WKF)

全日本空手道連盟は、本年度大会より世界ルールを採用。
今後、県連主催の大会ルールはどの様になるのか！

今後の大会運営について
このたびWKF(世界空手道連盟)の競技ルールが改正され、平成31年度の国際大会から新ルールが採用されました。それに伴って(財)全日本空手道連盟では、平成41年度の大会

より世界(WKF)ルールを採用することになりました。まず組手競技の概略を以下に簡単にまとめて見ます。
●第1にポイントについては「3本(6技あり)から8本差がつくまで行う」となります。

従って8対0や1対4など8本差がついた時点で終了します。また時間内であれば、5対3などの得点取り放題の勝負も出てきます。
●第2は本数の意味です。従来は「一本と技あり」がありましたが、今回の改正では「技ありが廃止されて一本」ということになりました。「一本」は手技、「二本」は中段蹴り、背部への突き、複合の手技、崩しからの技、「三本」は上段蹴り、投げ又は倒してからの技となります。従って技そのものの軽重でなく、突きや蹴りなどの技の違いや、技が決まった部位などで軽重をつける判定となります。この点は非常に疑問が残るところです。また「延長戦は従来本戦と同じ時間で行っていましたが、全て1分間となります」。

●第3に「ペナルティ」でありましたが、従来は「反則、場外、無防備」の3区分でありましたが、今度は「カテゴリー1、カテゴリー2」の2区分となります。「カテゴリー1」は当てる行為が該当し、「カテゴリー2」は場外、無防備、逃避などの行為が該当します。また4回反則行為を行えば反則負けとなる

のは従来と同様です。一方団体戦においては、反則勝ちをした選手には「8本」が加算されますので、勝者同数の場合、反則は勝敗を大きく左右することになります。
●第4に審判員については、従来の「3人制から主審1人と副審の3人(コートの辺に配置される)の4人制になります。当然判定時に2対2となる場合がありますが、この場合は主審に決定権があります。従来よりもやや主審の権限が強くなります。
第5に選手の服装ですが、安全具はマウスピース(メンホーなし)、拳サポーター(やや柔らかいもの)のみの着用となります。また選手は従来赤と白の区分でありましたが、今度は赤と青とに区分されます。従って、赤側の選手は赤帯、赤色の拳サポーターの着用となり、副審3人も赤旗と青旗を持つこととなります。

ここで細かい点は「青側の選手に対し、主審の用語は従来通り「白」と言います。このことは日本人と違い、外国人は「青色を白」と言っても何の抵抗も感覚もないからなのです。残念ながら全空連の世界舞台での力のなさが窺えます。
●次に形競技であります。従来の得点制から「トーナメント方式の旗判定(フック制)となります。本戦は2名の選手から始まり、決勝までは5回試合をしなければなりません。しかも各回戦は異なる形を演武しなければならず、従来よりも厳しい試合となります。また敗者復活戦も行われ、最終的には3位が2名

旧規定		新規定
全般	表示 帯 ひも	赤旗、白旗 階級の色帯 赤ひも、白ひも
	勝負 得点 ペナルティ 審判 配置 延長戦 反則勝ち	赤旗、青旗 赤帯、青帯 なし 8本差勝負 3本、2本、1本 カテゴリー1、カテゴリー2 4人(主審1、副審3) 副審は辺りに配置 全て1分間 8本が加算(団体戦の場合のみ)
組み手	試合 回戦 判定表示 敗者復活戦 審判 配置	トーナメント制 5回戦制(32名) 旗判定(赤旗、青旗) あり(最高位3位) 3人(主審1、副審2) 副審は辺りに配置
	形	

出ることになります。
但し全空連は、今回の改正で形競技については従来通りの得点制で実施する予定です。
以上が今回大幅に改正されたWKFルールの概要であります。今後の県内大会については、全日本選手権大会・国体・東北総体の動向を見ながら、基本的には上部大会の要項に併せて実施する方向で検討する方針であります。当面は、大会やコートによって新ルールと旧ルールを使い分けをする運営になっていきますので、選手と審判員においては、一日も早く新ルールの理解と技術を習得し、県内大会はもちらんのこと上部大会においても対応できるように各自努力して頂きたいと思います。
最後に選手・監督・応援者について申し上げます。県内大会の参加監督は、平成31年度

に製造販売している県空連指定の監督腕章(1,000円)の着用義務を徹底しますので、早めに購入されご準備をお願い致します。また選手・監督の身なりについても「空手道を志す者として、選手・監督の身なりについては、清潔端正であること。」「過度な脱色、染髪、長髪、装身具類などは禁止とする」と定めましたので、充分自覚して大会に臨んで下さい。一方応援者についても、アリーナへの立ち入りや応援の発声などマナーの悪さが一部にまだ見られます。各団体においても充分注意をし、正しい試合環境の中で気持ちよく試合が行われるようにご協力をお願い致します。
理事長 工藤 清
東北総体予選会より新ルールが採用されます。

道場紹介

sakata south high school

「焦らさない！燃え尽きさせない！」
目指すは生涯の空手道

酒田南高等学校

空手部

押忍



今回は、酒田南空手道部を取材させて頂き、その強さについて探りました。

最初に指導者の中村先生に、指導方針について伺って見ました。初めに中村先生の口から出た言葉は、生徒(部員)を「焦らせない！燃え尽きさせない！」と言う事でした。空手は、たった三年間で燃え尽きて無くなる物ではない。スポーツの前に武道である。在学中三年で途切れてしまう道では意味がない。一生継続される空手をやってもらいたい。それには、科学的練習も確かに必要ですけれども、昔ながらの練習も含めて確実に身に付けて行かなければならない。先生が言われる、方針に則った練習メニューを紹介したいと思います。

メニューは、四時～五時三十分迄と短時間で、そして集中できる様に、基本中心に組まれている。
体操と筋力アップのトレーニング(二十分)

基本練習

正確な突き・蹴りを中心に、その場の固定基本と移動基本

組手練習

①全員で、左右の逆突き、前蹴り、前蹴返し蹴り

② 一方で巻わらを突き
③ 一方では対面自由一本組手

これは交代で行い、どちらから攻めてもかまわない。これを何度も繰り返す。

ここで我々が注目したのは、巻わらです。これまでの取材の中で練習のメニューの中に「巻わら」を使っていた所は無かった様に思われます。これが先生が言われている科学的練習の中にも、昔ながらの良い所の練習でしょう。逆に云えば、昔から消えないで現在も、巻わら」は必要とされているのであるならば一番の科学的練習かも知れません。

もう一つ時間が短い理由があります。それは、練習の前後に自発的部分を設定していると言う事です。部員一人一人が自分の技を見直し、工夫補って行く、その時間が毎回あると言う事です。部員は、それぞれ、体力・身長・パワー、それに通学環境が違います。



それらの事を一人一人に自覚させ、合った練習を行なわせる。これで一生燃え尽きさせない空手を学んでもうと言っている。確かに大会で優勝と言う目標は必要です。しかし、空手を一生続けると云うことは、それはほんの一部、優勝したとしても燃え尽きる事の無い様、一生思考・工夫する気持ちを養うための事です。

中村先生の空手道に対する一途さが伺われます。そのごとく、中村先生も部員と一緒に体を動かし、自分自身がいつでも現役に復帰できる様にと汗を流しています。

更に、強い酒田南空手道部員二十人を支えているのは、百人余りの後援会の人々です。そして、年四回の春夏秋冬の合宿には、OB等が必ず参加してくれて、アドバイスをしてくれる。こういった環境の中の部員達は、真剣さを得ません。



もう一つ目に付いたものがありました。練習場の片隅にあった、小さな額です。

―日常の五心―

一、「ハイ」と云う素直な心

二、「すみません」と云う反省の心

三、「私がします」と云う奉仕の心

四、「お陰様」と云う謙虚な心

五、「ありがとう」と云う感謝の心

この五心を見ると常に相手を思い遣った上での自分、相手を押し忍ぶ、相手を敬い自己確立まで努力すると云う、押忍！の精神が伺われると同時に中村先生の心の広さが見える様な気がします。空手道は、道場だけのものではなく、もっと大きいものを創り出す場所である。そつ云う気持ちの部員がやる空手であるから強くなるのだと思います。これからも小さい道場から、大きな人間が育つ事を信じます。



最後に、遅れて行った我々を

指導者講習会 及び 公認段審査会

12月2日(日)天童市の県総合運動公園武道場において、午前中に指導者講習会、午後からは全空連公認段審査会がおこなわれました。

最近では会派にこだわらず、指定形が競技会で多く見られるようになり、広い要望がありましたので2巡目になりました。

また、午後からの公認段審査会は左記の方々が見事合格されました。

おめでとうございます。益々の精進を期待します。

参加者も現役の選手・高校生・指導者・審判員の方々と幅広く、熱気あふれるそして有意義な講習会でした。



初段の部

少年の部

阿部雅人、渡會慶治、佐藤克洋、遠田 茜、後藤千穂子、加藤孝幸

一般の部

塩原千恵美、宮原暢子、松田一隆、山科大介、斉藤祐一

二段の部

少年の部

加藤千明、水口若子

一般の部

今井新也、佐藤和典

三段の部

一般の部

梁瀬伸祐

形の講習会に参加して



天童高校

笹原 光絵

今回「形の講習会」に参加して、自分にプラスになった点がたくさんありました。

まず一番めに勉強になったこととして、「分解」がありました。私も、だいたいの分解はわかっていたつもりで形をやっていたんですが、その解釈がところどころ間違っていたり、忘れていたりしていたので、勉強になりました。そして、一つ一つの技にも、深い意味があるのだと改めて実感しました。また、「セイエンチン」に関しては、初めてやった形だったので、あんなにも接近性のある形とは思いませんでした。

他に勉強になった点としては、細かいところの留意点です。足や体、腕や手の角度、また、スタンスの広さの変化などさまざまです。これらは、本当に微妙な差なのですが、そこが違っただけで、違う間違っただけで、違ってしまうので、気をつけたいです。

このように、今回の講習会でたくさんのお話を学びました。この会を無駄にしないように、学んだことを頭に入れて練習していきたいと思っています。そして、正しい形ができるように頑張りたいです。

強化練習会に参加して

酒田南高校

今野 雄太

元ナショナルチーム監督の柳田先生が山形県の空手競技強化のために忙しいなかから来られました。僕は今以上にハイレベルな試合内容ができる事を目的にこの強化練習会に参加しました。柳田先生が僕達に教えてくれた事はおもに『さばき』の先の先、後の先というものでした。先の先は相手の攻撃に対し、自分の中心線をはずし、さばくと同時に相手に攻撃するものだそうです。後の先は相手の攻撃を、自分の中心線をはずし、さばいてからの攻撃だそうです。たった一日で覚えられるような



▶ 高校生に熱心に指導する柳田先生

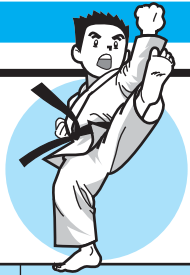


▶ 談笑しながらわかりやすく

ではなく、高等技術の技で僕達とはとまどいながら、言われたとおりできるように一生懸命がんばりました。

柳田先生は僕達に練習を始める前に空手の試合をするにあたって大切な6つの言葉を教えてくれました。リズム、リラックス、タイミング、スピード、バランス、スピリット、この6つの言葉はまずリラックスして冷静になり自分のリズムに合わせてバランスを保ち技を出すスピード、タイミングを合わせ、最後にものをいうのが精神力という事を教えてくれました。その6つの言葉は空手の競技をするにあたって最も重要なものだとわかります。この6つをひとつひとつ欠けてしまえば大会で上に進むことはできないと思います。

僕はこの強化練習会に参加し、柳田先生から腰が高いなど小さな欠点ばかり注意されましたが、もつと基礎を磨き小さな欠点をなくし、早く『さばき』のような応用をマスターしたいです。そして、6つの言葉を大切に覚え、上を目指していきたいと思っています。



平成14年度事業・行事計画

日 程	事 業・行 事	場 所
1 月 5 日	県連審議委員会	ホテルキャッスル会議室
1 月 27 日 ～ 28 日	東北高校選抜大会	秋田県
2 月 3 日	審判講習会(新規定)	仙台市
2 月 5 日	県連会計監査	県あこや会館
2 月 10 日	平成14年度県空手道連盟総会	県あこや会館
2 月 23 日	東北地区協議会代表者会議	仙台市
3 月 2 日	公認4・5段審査会及び公認地区組手審判審査会	仙台武道館
3 月 3 日	公認地区形審判審査会	仙台武道館
3 月 16 日 ～ 17 日	県連事業指導者講習会 講師/前田利明 氏 (ナショナルチーム監督)	山形市内
3 月 23 日 ～ 24 日	ジュニア強化研修会 講師/大出敏夫 氏 (糸東会理事)	山形市内
4 月 20 日	全国組手審判員講習会	大阪府立体育館
4 月 21 日	同上	
4 月 21 日	県審判員講習会(審判員協議会総会) 公認段位審査会(初段～三段)	山形市スポーツセンター
4 月 27 日	全国組手審判員講習会	東京都郵政体育館
4 月 28 日	同上	
4 月 28 日	東北中学校選手権大会	宮城県武道館
5 月 6 日	第5回東北中学生空手道選手権大会	宮城県武道館
5 月 11 日	村山地区高校総体	東海大学山形高校
5 月 12 日	第31回社会人大会	県武道館
5 月 26 日	山形市大会	山形市スポーツセンター
6 月 1 日	県高校総体	山形市スポーツセンター
6 月 9 日	全日本小学生・全国中学生大会山形県予選会	県総合運動公園サブ
6 月 16 日	東北大学総体	未定
6 月 22 日 ～ 23 日	東北高校総体	須賀川市
7 月 14 日	第20回県ジュニア選手権大会	県運動公園アリーナ

日 程	事 業・行 事	場 所
7 月 21 日	国体・東北総体県予選会	県総合運動公園剣道場
8 月 3 日	全日本少年武道錬成会	日本武道館
8 月 4 日	第2回全日本少年少女選手権大会	駒沢体育館
8 月 3 日 ～ 5 日	全国高校総体	取手市スポーツセンター (茨城県)
8 月 15 日 ～ 16 日	第10回全国中学生空手道選手権大会	岡山市総合文化体育館
8 月 23 日 ～ 25 日	第29回東北総合大会	天童市スポーツセンター
9 月 8 日	文部省認定地域スポーツ指導者更新講習会	仙台市武道館
9 月 14 日	村山地区高校新人戦	天童高校
9 月 22 日	第35回県空手道選手権大会	県総合運動公園サブ
9 月 28 日 ～ 29 日	全国形審判員・競技力向上 指導者義務講習会	名古屋市スポーツセンター
10 月 6 日	第10回県少年少女交流大会	天童高校
10 月 27 日 ～ 29 日	第57回国民体育大会	高知市屋内競技場くろ しおアリーナ
11 月 2 日	県高校総体新人戦	県総合運動公園サブ
11 月 9 日 ～ 11 日	日本マスターズ空手道競技(第2回)	大和市スポーツセンター
11 月 10 日	第13回県ジュニア選抜選手権大会	南陽市民体育館
11 月 30 日 ～ 12 月 1 日	公認6・7段審査会	大阪府立体育館
12 月 1 日	県連指導員講習会・公認段位審査会(初、2、3段)	県総合運動公園柔道場
12 月 8 日	第30回全日本空手道選手権大会	日本武道館

平成15年

1 月 24 日 ～ 26 日	東北高校選抜大会	県総合運動公園アリー ナ
3 月 15 日 ～ 16 日	公認4・5段審査会、地区組手・形審判員審査会 並びに更新講習会	仙台市武道館